

令和2年度 佐賀いのちの電話 事業報告

I 事業の概要

佐賀いのちの電話は、開局以来、着実な歩みをたどってきましたが、令和2年度は思うようにならない「新型コロナウイルス」感染の影響を大きく受けました。それでも電話相談の受付は1日も休むことなく開局以来の「24時間受信」を守りました。相談総数は前年より2千件増え、日本いのちの電話連盟加盟センターの上から4番目にランクされました。困難な状況のいま、いのちの危機に追い込まれ、苦しむ方々の心の叫びに耳を傾け、寄り添った相談員の方々の努力は、コーラーさんにとって大きな支えになったことでしょう。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、養成講座は例年の2班から土曜班1講座のみ実施。このため、このところ2桁確保が続いていた新規相談員の養成は、7人にとどまりました。

またコロナ感染防止から、班研修、各委員会を2度にわたり約3カ月間中止せざるを得ませんでした。公民館を借りての班研修は、相談員に不便を強いたうえ、開催数が不足したため、事例提出ができなかった方も目立ちました。

「緊急事態宣言」に伴い内外の研修、イベントの中止が相次ぎ、理事会、評議員会も書面決議で行いました。

新型コロナウイルスに振り回された1年でしたが、相談員の健康・安全を第1に電話相談活動に取り組んで参りました。幸い、佐賀いのちの電話関係者からは感染者を出しませんでした。その一方では、電話相談活動の制限により、一応にもどかしい気持ちを感じております。

この緊急事態の経験を今後の電話相談活動にどう生かしていくのか。いろいろな課題をもたらしました。新年度は、Web会議・研修の検討に着手するほか、安全・安心な相談業務の環境づくりに一層取り組みます。

II 事業運営

1 役員会等の開催状況

○ 第1回理事会	期日	令和2年6月4日(木)佐賀いのちの電話事務局
書面決議	理事	8人(欠席理事 無) 監事 2人
○ 第2回理事会	期日	令和3年3月3日(火)佐賀いのちの電話事務局
書面決議	理事	7人(欠席理事 無) 監事 1人
○ 定時評議員会	期日	令和2年6月20日(土)佐賀いのちの電話事務局
書面決議	評議員	11人(欠席 無)
○ 第2回評議員会	期日	令和3年3月16日(火)佐賀いのちの電話事務局
書面決議	評議員	11人(欠席 無)

2 佐賀県指導監査

期日 令和2年8月6日(木) 碇 副監査官
令和2年12月17日(木) 佐賀県障害福祉課

Ⅲ 相談電話事業

1 電話相談活動の実施

- 電話相談 年中無休・24時間体制
- 相談電話 2台
- 電話相談員 139人(令和3年3月末)
 - 受信件数 18,353 1日平均 51.5件
 - 受信件数 令和元年 16,374件 (45件)
 - 平成30年 16,788件 (1日46件)
 - <参考> 平成29年 19,037件 (1日52)
 - 平成28年 20,079件 (1日55)
 - 平成27年 22,479件 (1日62)
 - 平成26年 23,696件 (1日65)
 - 平成25年 26,193件 (1日71)

2 「自殺予防・佐賀いのちの電話」の実施

- 自殺予防相談電話(24時間) 0952-34-4343
- 佐賀県自殺予防夜間相談電話(毎日23:00~5:00) 0120-400-337
- 全国自殺予防いのちの電話(毎月10日8:00-11日8:00) 0120-783-556
- 新型コロナウイルス対策「毎日フリーダイヤル」(16:00~21:00) 0120-783-556 ✓
- 自死遺族支援わかち合い「ハートの海」 0952-34-4186

3 電話相談員の現況・養成等

(1) 電話相談員数

- | | | | |
|------------|------------|-------------|-----|
| ① 令和3年3月末 | 139人(休務含む) | 26期第3課程受講者 | 7人 |
| ② 令和2年3月末 | 138人(休務含む) | 25期第3課程受講者数 | 18人 |
| ③ 平成31年3月末 | 129人(休務含む) | 24期第3課程受講者数 | 13人 |
| ④ 平成30年3月末 | 128人(休務含む) | 23期第3課程受講者数 | 11人 |
| ⑤ 平成29年3月末 | 136人 | 22期第3課程受講者数 | 8人 |

(2) 電話相談員の養成

① 第1課程 第26期カウンセリング公開講座

期間 5月~7月 講義・演習 11回
受講生 土曜班のみ 17人

② 電話相談員養成講座

第2課程 第26期養成講座 期間 令和2年9月～翌年3月

講義・演習 26回(宿泊研修を含む)

受講生 土曜班 7人

第3課程 26期生養成講座 期間 令和3年4月～翌年3月

電話相談実習 月2回 グループSV 年12回

個人SV 年2回 受講生 7人

(3) 電話相談員の継続研修・表彰

① 班研修 毎月 実施(新型コロナウイルス感染予防のため、各班4～5回お休み)

② 全体研修 8回

③ 認定・表彰 22期生認定者 6人

100回表彰	200回表彰	300回表彰	400回表彰	500回表彰	600回表彰	700回表彰
3人	9人	2人	3人	7人	3人	3人
800回	1000回					
1人	1人					

④ 自殺予防 公開講演会「新型コロナ 禍における 自殺予防」

講師 本田 洋子 (福岡市精神保健センター所長)

(5) ① いのちの電話相談員 第37回全国研修会三重大会＝中止

② 九州地区相談員ワークショップ(福岡市)＝中止

IV 委員会・会活動

(1) 研修委員会

① 研修委員会 2回 *相談員認定、公開・養成講座、継続研修、相談員の募集等

② 相談員サポーターの会 毎月1回開催

(2) 広報委員会 4回開催

① 会報「ハートの海」55号・56号発行

② 幸せの黄色いレシートキャンペーン、ショッピングセンター等での広報啓発活動＝中止

(3) 事業委員会 4回開催＝中止

(4) 世話人会 隔月

V 委託・補助事業

(1) 受託事業

佐賀県自殺予防夜間電話相談事業 毎日 23:00～5:00

佐賀市自殺対策普及啓発事業

パンフレット・リーフレット等の作成、佐賀市報・ラジオ等を活用した広報啓発活動

世界自殺対策月間キャンペーン 啓発展(佐賀市庁舎ロビー)

出前講座 (7回)

(2) 補助事業

佐賀県自殺対策緊急強化基金事業

厚生労働省自殺対策事業

- | | | |
|---------|---------------------|-----------|
| (3) 助成金 | 毎日新聞西部本社社会事業団 | 100, 000円 |
| | 赤い羽根 緊急支援(佐賀県共同募金会) | 300, 000円 |

VI 佐賀県ふるさと納税NPO支援

佐賀県に申請し、団体指定を受ける

寄付 36件 寄付額 1, 147, 500円(県の手数料を除く)

返礼品・代理店手数料等 360,000円

VII 自死遺族支援事業

(1) 「ハートの海」の「自死遺族のつどい」開催

① 毎月 第4土曜日 13時30分～16時 佐賀市・アバンセ

(2) 「ハートの海」スタッフ研修

① スタッフ自主研修会 毎月 第4土曜日 16時～18時

② いのちの電話自死遺族支援合同研修会

1月8日(金)

オンライン 5人参加

(3) 「自死遺族支援事業」の公開講演会

① 公開講演会 2月20日・メートプラザ佐賀

講師:近藤 福次 氏 (なゆたの森病院医師)